

令和2年度 前期選抜の選抜・評価方法

学校番号 47

千葉県立松戸高等学校 全日制の課程 芸術科

1 期待する生徒像

次のすべてを満たす生徒

- ア 基本的な生活習慣が身につけており、高校生活に意欲的に取り組むことができる。
- イ 学習成績が優れ、美術・工芸に興味・関心が高く、適性および優れた能力を持つ。

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 面接	受検者6名程度・評価者3名の集団面接 検査時間：1グループ15分
(4) 適性検査	用意されたモチーフを鉛筆デッサンする。 検査時間：100分

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査 [500点満点]

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科（各教科100点満点）の合計500点満点で評価する。

(2) 調査書 アの数値に、イ及びエについて加点（上限32点）したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	算式1で求めた数値で評価する。 評定1また未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	3か年皆勤である場合は加点する。 各学年において欠席が20日以上ある場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	○が一つもない場合は、審議の対象とする。
エ 特別活動の記録、部活動の記録及び特記事項	学級活動、生徒会活動、部活動、その他の活動で特に積極的に取り組んだと認められる記述については加点する。

(3) 面接 [12点満点]

3名の評価者が、次の4つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の3段階で評価し、3名の評価者による、評価項目ごとの評価の組合せ（aaa～ccc）ごとに得点化する。評価cが3つ以上ある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 志望の動機	志望の動機が明確である。
イ 高校生活への意欲	高校生活に対する目標・意識が明確である。 高校生活（学習・部活動等）に意欲的に取り組もうとしている。
ウ 質問に対する応答	質問内容を的確に理解し、明確かつ具体的に回答することができる。
エ 身だしなみ・態度	服装・頭髪等身だしなみが整えられている。 基本的な面接作法が身に付いている。

(4) 適性検査 [200点満点]

5名の評価者が、次の2つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、20点満点で評価し、5名の評価者の評価（各40点満点）を合計する。**合計点が60点未満の場合は、審議の対象とする。**

評価項目	評価基準
ア 観察力・描写力	用意されたモチーフを観察し、感じ取った形や美しさが的確に読み取れている。構図、形体、動き、光、量感などが的確に描写されている。
イ 完成度	鉛筆デッサンの完成度が高い。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

「学力検査の成績」、「調査書の得点」、「第2日の検査（面接・適性検査）の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、予定人員までを入学許可候補者として内定する。

〈総得点の満点の内訳〉

学力検査 の成績	調査書の得点		第2日の検査の得点		総得点
	評定（算式1）	加点	面接	適性検査	
500点	$(135 + \alpha - m)$ 点	32点	12点	200点	$(879 + \alpha - m)$ 点

（算式1） α ：県が定める評定合計の標準値95
 m ：中学校評定合計平均値

(2) その他

ア 自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはしない。

イ 入学許可候補者に内定した者のうち、隣接県公立高等学校入学志願者取扱協定による内定者数が、細部協定書の示す制限比率を超えていないことを確認する。